

2ペテロ3：11-13

「キリストは必ず再臨される③」

11/5/17

ここ11節でも、10節で教えた「天地の滅び」を繰り返している。
その理由が次の「どれほど」という言葉でわかる。

「どれほど」という言葉は、G辞書では「文脈において、この言葉は、称賛に値する事柄が読者たちから当然のこととして期待されていることを暗示している。」

In the context the word hints that great things are expected of the readers; “how outstandingly excellent.” (Kelly) Ling. Key p.782

ペテロは、ここからキリスト者の生き方へと話を転換している。

キリスト者に相応しい生き方を生きるためには、ペテロは、この天と地が滅びるという事実を忘れないことがカギだと信じていた。

A. 相応しい生き方への奨励：終わりの日に相応しい生き方 11節

1. 「聖い生き方」をする

① 「救われた目的」 1テサロニケ4：3-7

② 「救われた証拠」 1ペテロ4：3-5

そのように生きているかどうか？ 1ペテロ3：1-2

2. 「敬虔な人」となる

● 良い心は良い行いを。 1ペテロ3：3-4

● 悪い心は悪い行いを。 マルコ7：20-23

* ダビデは心を正しく保つことを心がけた。箴言3：1-3、詩篇119：11

* 心に主への畏れが必要。 箴言23：17

B. 勤勉さへの奨励 12-13節

1. 「神の日」への備え 12節

① 「待ち望み」：「神の日の来るのを待ち望み」

● 「神の日」と「主の日」 詩篇110：1（使徒2：33-35）、ヘブル10：13

● 「神の日の来る」 ピリピ2：10-11

● 「待ち望み」

* これこそ、救われた者の特徴！ 1ペテロ1：3、1テサロニケ1：9、10

② 「早める」：「その日の来るのを早めなければなりません」

● 「そのために」とは「理由や原因」を表す前置詞。

(1) 「神の日の来る」時と、「天は燃えてくずれ、天の万象は焼け溶けてしまう。」との関係

(2) 「その日の来るのを早める」と「神のご計画」との関係

神の目的のさらなる前進のために用いられる道具となること。

Peter would be urging his readers as God's chosen people to be His instruments in furthering the divine purpose. (Edmond Hiebert p.163)

2. 神の日という希望 13節

この13節は、「新しい天と新しい地」で始まっている。**強調！！**

① その特徴：「新しい」とは？

② 「正義の住む」

考えましょう：

1. 「聖い生き方」を実践するにはどうすれば良いのかを記してください。
2. 「敬虔な人」として成長するにはどうすれば良いのかを記してください。
3. 「神の日に備えた生き方」についてペテロの教えを記してください。
4. どうして御言葉の実践が大切なのかを記してください。